

耳よりウンチク学

容器の温度管理について

容器のバルブには安全弁（可溶栓）が装着されています。通常は表面が平坦ですが、まれに温度上昇が原因で、充填されている溶融金属が膨らんでいる可溶栓があります。このような容器をそのまま使用していると、回収作業や移動・貯蔵の最中に、温度及び内部圧力の上昇によって突発的に可溶栓が作動し、回収フロンの漏洩、溶融金属の飛び出し事故などの危険があります。

容器の使用にあたっては、次の2点にご注意下さい。

- ①回収容器は40℃以下に保つよう、温度管理に気をつける。（特に密閉した車内においては容易に60℃を超えてしまいます。）
- ②可溶栓に異常な膨らみを発見したら、直ちに使用を中止し、容器検査所にて可溶栓の交換並びに再検査を受ける。（高圧ガス保安協会認定の容器検査所以外での可溶栓の交換は法令違反となります。）